

平成24年度学校評価について（まとめ）

対象	実施時期	回収数	備考
職員	9月、2月	60名、61名	年2回実施
生徒	12月	916名	HR等で実施
保護者	12月	754名	事前に配布し面談時に回収
近隣中学校	12月	33校	在籍生徒の出身中学を対象

《 結果 》 全体として 24 年度も高い評価をいただいた。各対象ごとのまとめ及び今後の課題については次のようなものが挙げられる。

1 職員対象の調査から

- (1) 全職員協力のもと Eishin オープンハイスクールや学校公開、学校見学の随時受入など、意欲的に情報発信に取り組んできた。また、ホームページを全職員が更新可能なシステムに改め、内容も一新した。学習指導に関しては、各教科単位で授業観察を実施し、より効果的な授業の展開や生徒の学習意欲を高める工夫に努めている。
- (2) 生徒の服装及び生活面については、「重点項目」にかかげた4項目中、「個別面談・教育相談の充実」と「事故の未然防止」については概ね良好な評価をいただいたが、「規範意識の向上」と「自他の生命尊重の精神養成」においては平均値が 3.0 を下回っており、今後も継続した指導が必要である。

2 生徒対象の調査から

- (1) 「クラスの雰囲気がよく安心した学校生活が送れていること」（項目 6）に関しては平均値 3.4 という高い評価を得た。
- (2) ほとんどの項目で評価が上昇している（49 項目中 36 項目）。特に「活力ある進学校づくりへの認知度」（項目 1）や「年次の目標や指導方針への認知度」（項目 5）、「日々の生活指導の適切性」（項目 8）、「生徒会活動への関心」（項目 15）、「校舎や校地の整備」（項目 22）などは上昇率が高かった。
- (3) 評価の平均値が 3.0 を下回るのは以下の 11 項目である。①「単位制の進路実現への有益性」（項目 3, 2.9）、②「年次目標の認知度」（項目 5, 2.4）、③「生徒自身の進路に関する情報収集の努力」（項目 13, 2.9）、④「生徒会活動の活発さ」（項目 15, 2.3）、⑤「生徒会活動への関心」（項目 15, 2.3）、⑥「命や人権の大切さを学ぶ機会」（項目 18, 2.5）、⑦「図書館の利用度」（項目 19, 1.9）、⑧「交通指導や防災訓練など安全確保のための指導」（項目 18, 2.9）、⑨「保護者との意思疎通」（項目 21, 2.8）、⑩「予習・復習などの家庭学習時間の確保」（項目 28, 2.6）、⑪「課題・宿題の提出期限」（項目 29, 2.9）。このうち、⑧⑩⑪以外は評価が上昇しているが、引き続き改善に努めていきたい。

3 保護者対象の調査から

- (1) 「本校に入学させてよかった」という評価が例年に増して高く（項目 3）、「毎日楽しく学校生活を送っているか」についても昨年同様、高い評価を得ている（項目 20）。
- (2) 昨年は、震災の影響で体育館が使用できない状態が続き、多くの保護者から早期の復旧を望む声が届けられた。4月までに体育館が使用できるようになったこともあり、「学習環境・教育設備の整備」について、評価は上昇し、高い評価を得ている。（項目 14）
- (3) 以下の 2 項目が 3.0 を下回る。①「保護者が PTA 活動に意欲的に参加できるための工夫」（項目 15）、②「学校（年次・担任）と家庭との連携」（項目 17）。
- (4) その他、気になるものとして、「熱心な学習指導」（項目 5）および「適切な進路指導」（項目 6）で 0.1 ポイント数値が下がっていることがあげられる。「命や人権の大切さを学ぶ機会」（項目 12）や「保護者と教職員が子どもについて話し合う機会」（項目 18）は上昇している。

4 中学校対象の調査から

- (1) 33 校から回答が寄せられ、「活力ある進学校」づくりへの取り組み・進路指導を中心に評価の平均値が 3.5～3.8 と全体として高い評価をいただいた。
- (2) 高校生らしい態度や服装等については、昨年を下回る評価となった（項目 7）。今後とも気を引き締めて、指導法の改善と粘り強い指導を心がけていきたい。
- (3) 「面談などを通じて十分な個別指導が行われているかどうか」の質問（項目 8）に 33 校中 11 校が「わからない」と回答しており、情報の発信の仕方を工夫したい。

5 まとめとして

- (1) 「活力ある進学校」ということは地域に定着してきたと考えられる。今後は新しいステージに向け、より充実した進学校を目指すために、職員全体の共通理解の元で具体的な取り組みを実施していきたい。
- (2) 制服の着こなしや自転車等のマナーの面での厳しいご意見もいただいている。社会の一員としての責任を自覚するとともに、牛久栄進生としての誇りを持ち、自ら社会・学校のルールを守れるように継続的な指導を続けていきたい。
- (3) 中学校を含めた地域社会への情報発信については、平成 24 年度の改良点をふまえて、刻々と変化する状況に合わせ適切に対応していきたい。

